

## 第5学年 図画工作科学習指導案

### 1 題材名 「〇〇校区の街で働く人々」(絵や立体)

### 2 題材の考え方

本題材は、総合的な学習の時間「〇〇校区の街で働く人々」において、子どもたちが自分なりに感じた「働く人のすばらしさ」を絵に表すものである。子どもたちが追求してきた働く人の苦労や努力、思いや願いの中で最も心に残ったことを、画面構成や線描材選び、色づくり、筆づかい等を工夫して自分の思いを生き生きと表現することをねらいとしている。

この題材を通して子どもたちは、直接インタビューした働く人の姿から「働く」ことの意義を考え、最も心に残った働く人の表情や動きをもとに、個々が感じた働くことのすばらしさを生き生きと表現することができる。また、人物を中心にした前後の重なりをもとに、近景や遠景を表しやすくと考える。

であいの段階における人とのかかわりは、地域で働く人々と出会い、仕事をする上での苦労や努力を知ることである。働く人の思いや願いに触れることで、子どもたちは表したり伝えたい表現主題を明確にもち、表現活動への意欲を高めることができる。また、表現の段階では友達と互いの表現のよさや工夫を交流し合うことで、より自分らしい表現を工夫したり探し求めたりすることが考えられる。さらに、鑑賞の段階では自他の作品を地域で働く人を交えて鑑賞し合うことで、個々の表現のよさや美しさを認め合い、自他の価値や可能性に気付くと共に、つくりだす喜びを感じることができると考える。

### 3 人とのかかわりを大切に学習指導の工夫

#### ○ 総合的な学習の時間と関連付けた人との出会いと表現主題づくりの工夫

総合的な学習の時間「〇〇校区の街で働く人々」と関連付けて、地域で働いている方に、仕事をする上での工夫や努力、苦労や喜び等を取材する場を設ける。そして、であいの段階において取材して感じたことを小グループで交流し合い、地域で働く人々の思いや願いをイメージマップにまとめることで、自分が表したり伝えたい表現主題を明確にもたせるようにしたい。

#### ○ 自他の表現のよさや工夫を交流し合える時間、場、グループの設定

表現の段階において、3人グループで活動させ、互いの表現のよさや工夫を交流しやすいようにする。1単位時間の中で、機会を捉えて各々が生み出した色や技を自由に交流し合い、互いのよさを広げる時間を設けることで、既習経験を生かした技能を活用して自分の表現主題に合った自分らしい表現を探ったり、工夫したりできると考える。

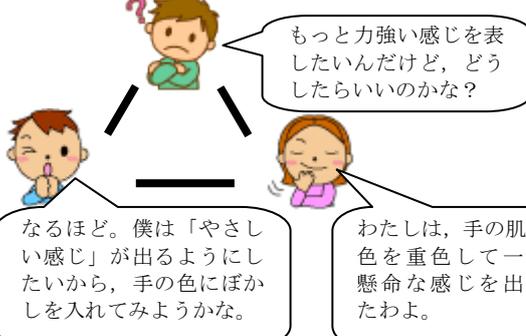
#### ○ 自他の表現のよさや美しさを伝え合ったり認め合ったりできる鑑賞活動の工夫

鑑賞の段階において、地域で働いている方をお招きして自他の作品を鑑賞する場を設定する。3～4人の小グループで形・色・イメージを手掛かりに作品を鑑賞し、感じたことを自由に交流し合う、ギャラリートーク形式で鑑賞を行う。少人数で鑑賞させることで、それぞれの表現のよさや美しさを十分味わうことができ、自他の価値や可能性を認め合うことができると考える。

### 4 本題材の目標

- 地域で働いている人の思いや願いに触れ、表現主題を意欲的に表現しようとする。  
(造形への関心・意欲・態度)
- 前後の重なりや大切なものの強調等を工夫して、表現主題にあった画面構成を考えることができる。  
(発想や構想の能力)
- 表現主題に合った色や筆づかいを意欲的に探ったり、工夫したりすることができる。(創造的な技能)
- 作品や活動の交流を通して、表現のよさや美しさを感じ取ることができる。(鑑賞の能力)

5 指導計画（9時間）

	ねらい	学習活動	配時
であい	地域で働く人の思いや願いに触れ、自分が表したり伝えたりしたい表現主題を明確にもつ。	<p>1 総合的な学習の時間「〇〇校区の街で働く人々」の学習活動を振り返り、地域で働く人の思いや願いをイメージマップに表し、表現主題を決める。</p> <div data-bbox="464 344 1394 524">  <p>魚屋さんは、お客さんが食べやすいようにと一本一本丁寧に魚の骨をぬいていたよ。その真剣な姿を表現したいな。</p> <p>予想される表現主題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ お客さんのために骨を丁寧に抜く魚屋さん</li> <li>○ あたたかい笑顔で接客する八百屋さん</li> <li>○ お客さんのことを考えて一生懸命パンをこねるパン屋さん</li> </ul> </div>	1
表現	表現主題をもっとも表現できる画面構成を考えて表し、自分の思いに合った色や筆づかいを探ったり工夫したりして表現する。	<p>2 ラフスケッチを何枚か描き、自分の表現主題に合う画面構成（大きさ・向き・重なり等）を考え、イメージスケッチに表す。</p> <div data-bbox="464 568 1394 770">  <p>パン屋さんのやさしさを、特に表情と手で表現したいな。そのために、パン屋さんの表情と手がしっかり見えるような構図にしよう！</p>  </div> <p>3 イメージスケッチをもとに表現主題を表現するための線描材を選び、線で表す。</p> <div data-bbox="464 815 1394 1151">  <p>魚屋さんの力強い感じを出すために、はしペンで下絵をかいてみようかな？</p>  <p>茶のコンテは笑顔の八百さんがあたたかくお客さんと接するイメージにぴったりだわ。</p>  <p><b>参考作品</b></p>  <p><b>参考作品</b></p> </div> <p>4 自分の表現主題に合った色や筆づかいを探しながら工夫して表す。</p> <p>&lt;かくく人物や場所が違う3人グループ&gt;</p> <div data-bbox="464 1218 1394 1621">  <p>もっと力強い感じを表現したいんだけど、どうしたらいいのかな？</p> <p>なるほど。僕は「やさしい感じ」が出るようにしたいから、手の色にぼかしを入れてみようかな。</p> <p>わたしは、手の肌の色を重色して一生懸命な感じを出したわよ。</p> <p>&lt;見てみてコーナー&gt;</p> <p>離れてみると、顔の部分の色が薄いような気がするな。</p> <p>本当だわ。表情が一番表現したい部分なんですよ？もう一度重色してみたら？</p> </div>	1 5年3組 本時  2  4  6/9 5年1組 本時
鑑賞	互いの作品のよさや美しさを認め合い、自他の価値や可能性に気付く。	<p>5 ギャラリートーク形式で自他の作品のよさや美しさを交流し、地域で働く人の話を聞く。</p> <div data-bbox="464 1711 1394 2092">  <p><b>参考作品</b></p> <p><b>形</b></p> <p>眉の曲がり具合から、魚屋さんの真剣な様子が伝わってくるね。</p> <p><b>色</b></p> <p>手に赤っぽい肌色を彩色していて、力が入っている感じが出ているね。</p> <p><b>イメージ</b></p> <p>指の形や色から、きっと魚屋さんの一生懸命な様子を表したかったんだと思うな。</p> <p>私たちが日頃お客さんのことを考えて働いている様子を、このような絵に表してもらって、なんだかとても嬉しいわ。</p> <p><b>地域で働く人</b></p> </div>	1 5年2組 本時

第5学年1組 図画工作科学習指導案 (表現)

6 本時目標 ( 6 / 9 )

- 自分の表現主題がよく表れるように、色や筆づかいを工夫して彩色することができる。

(創造的な技能)

7 本時学習にあたって

前時から始めた彩色を続ける。地域で働く人の思いや願いを考えた表現主題がよく表れるように、色や筆づかいなどを工夫して表現できるようにする。表現主題の違う3~4人のグループにすることで、互いの表現主題に関心を持ち、言語活動が活発になると考える。また、個に応じた交流を促すことで、友達の表現のよさを取り入れたり、より自分の表現主題に合った彩色を探し求めたりすることができると考える。

8 展開

学習活動・予想される子どもの姿	教師の支援 <b>※人とのかかわりに関する支援</b>
<p>1 前時の学習を想起し、本時のめあてを確かめる。</p>	<p>○ 図工ノートで、自分の表現主題を確かめる。</p>
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて 表現主題がよく表れるように色や筆づかいを工夫して彩色しよう。</p>	
<p>2 描きたいところやイメージが決まったところから彩色する。</p> <p>(1) 水彩絵の具の彩色の工夫を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> <p>力強い感じを出すために、水を少なくして濃く色をつけてみよう。</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> <p>幼稚園の先生の温かい表情を表すために、頬の部分は丸く筆を動かしてみよう。</p>  </div> <p>(2) 彩色する。</p> <p>(3) 友達の表現のよさや工夫を交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> <p>力の入った手を表すには、少し茶を混ぜてみたら。</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> <p>もっと一生懸命な感じを表したいんだけど、どうしたらいいのかな？</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> <p>わたしは水も少し減らしてみたらいいと思うよ。</p>  </div> </div>	<p>○ 色や筆づかいの工夫の内容を確認したり、彩色がよりよくできるように、筆先の使い方を演示したりすることで、子ども一人一人が自分のめあてを具体化できるようにする。</p> <p>○ 表現主題を表す彩色の工夫が視覚的に確認できるように、参考作品と彩色の技法の資料を提示する。</p> <p>○ 「お試しカード」を用意し、色や技法を試しながら彩色できるようにする。</p> <p>※ 交流しやすいように3~4人グループに机を配置し、機会を捉えてお互いのよさを取り入れたりアドバイスしたりするよう促す。</p> <p>※ 「見てみてコーナー (イーゼル)」を用意し、少し離れて自分の作品を鑑賞し、教師や友達と作品のよさやさらに工夫する点を交流できるようにする。</p>
<p>3 本時の活動を振り返り、次時の活動の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>「見てみてコーナー」で友だちと一緒に自分の作品を見て、もう少し水加減を工夫したらいいことがわかったわ。次の時間は、重色をしてもっと力強さを出したいな。</p>  </div>	<p>○ 友達とのかかわりの中で感じたことを図工ノートに振り返り、次時に生かす。</p>

第5学年2組 図画工作科学習指導案 (鑑賞)

6 本時目標 (9 / 9)

- 作品をもとにした交流活動を通して、自他の表現のよさ、美しさ、思いを感じ取り、伝え合ったり認め合ったりできる。(鑑賞の能力)

7 本時学習にあたって

3~4人グループでギャラリートーク形式の鑑賞を行う。表現の段階のグループとメンバーを変え、同じ人物や場所を描いた少人数で鑑賞を行うことで、それぞれの表現のよさや美しさを十分味わうことができ、自他の価値や可能性を認め合うことができると考える。鑑賞を始める前に、形・色・イメージの視点で鑑賞することを確認し、表現の根拠を明らかにして表現主題とのつながり確かめながら鑑賞を深められるようにする。さらに、地域で働く人に絵を見ていただくことで、つくりだす喜びを味わうことができると考える。

8 展開

学習活動・予想される子どもの姿	教師の支援 <u>※人とのかかわりに関する支援</u>
<p>1 これまでの学習を想起し、本時のめあてを確認する。</p>	<p>○ これまで表現主題に向かって工夫しながら表現してきたことを想起できるようにする。</p>
<p>めあて ギャラリートークをして、友達や自分の作品の思いが表れているところを伝え合おう。</p>	
<p>2 ギャラリートーク形式で鑑賞を行う。 (1) ギャラリートークの方法を知り、鑑賞の視点を確かめる。</p>	<p>○ 表現のよさや美しさを十分味わい、表現主題とつなげることができるように、めあての「思いが表れているところ」の内容を具体的に確認する。</p>
<div data-bbox="142 1070 481 1104" data-label="Section-Header"><p>【ギャラリートークの手順】</p></div> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 2分間黙って絵を見る。</li> <li>② 絵を見て気付いたことや好きだと感じたことを自由に話す。</li> <li>③ 作者が表現したかったことは何だと思うかを話す。</li> <li>④ 作者の思いを聞く。</li> </ol> <p>※司会者の絵を鑑賞する。</p>	<div data-bbox="869 1064 1272 1095" data-label="Section-Header"><p>【思いがよく表れているところ】</p></div> <p>思いや個性が表れる自分なりの形や色の工夫</p> <p>○ 参考作品を使ってギャラリートークの活動提案を行い、ギャラリートークの進め方を全体で確認する。</p> <p>○ 子どもたちが感じたことを「形」「色」「イメージ」の視点で整理することで、表現のよさや美しさを言葉で伝えやすくなることを確認する。</p> <p>○ 鑑賞がスムーズに進み、深まるように、司会カードを準備する。</p>
<p>(2) ギャラリートークを行う。</p> <div data-bbox="114 1505 277 1758" data-label="Text"> <p>包丁をもつ手がごっごっして、力強さが伝わってきます。真剣に働く姿を表現したのだと思います。</p> </div> <div data-bbox="287 1505 598 1758" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="582 1460 777 1550" data-label="Text"> <p>ぼくが表現したかったことは何だと思えますか？</p> </div> <div data-bbox="625 1594 777 1749" data-label="Text"> <p>ほおの赤みは、一生懸命さを表しているのかな？色を重ねているね。</p> </div>	<p>※ 互いの表現のよさや美しさを十分味わえるように、同じ人物や場所を描いた少人数でグループピングする。</p> <p>○ 表現と表現主題とのつながりを明確にできるように、友達の発言に対して「なぜそう思ったのか」「どこからそのように感じたのか」等、問い返させるようにする。</p> <p>○ 鑑賞に深まりが見られない子どもには、個別の見取り表をもとに、「形」「色」「イメージ」の視点で鑑賞するように助言する。</p>
<p>3 地域で働いている方の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの絵を見て感激したこと。</li> <li>・働く人の思いが表れているところ。</li> <li>・働く喜びとすばらしさ。</li> </ul>	<p>※ 地域で働く方に話していただきたい内容を事前に打ち合わせておき、子どもが自分の価値や可能性に気付くと共に、つくりだす喜びを感じられるようにする。</p>
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <div data-bbox="110 1993 188 2083" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="244 1973 782 2085" data-label="Text"> <p>○○校区の街で働いている方や友だちにぼくが表したかった思いが伝わってうれしいな。友だちの作品も、自分の表現主題に近付けるために形や色の工夫をしていてよかったな。</p> </div>	<p>○ 地域で働く人や友達とのかかわりの中で感じたことを図工ノートで振り返ることができるようにする。</p>

第5学年3組 図画工作科学習指導案 (表現)

6 本時目標 (2/9)

- 大きさや向き, 遠近, 動き, 重なり等を工夫して, 自分の表現主題に合った画面構成を考えることができる。 (発想や構想の能力)

7 本時学習にあたって

ラフスケッチを何枚か描き, 人の大きさや向き, 動き, 位置, 用紙の向き等を観点に, 2~3枚のラフスケッチの中からどれが表現主題をもっとも表すことができるかを3~4人グループで交流していく。自分の表現主題を根拠に交流していく中で, 改めて地域で働く人の思いに触れ, 自分の表現主題をより深めながら, 線で表現しようとする事が考えられる。

8 展開

学習活動・予想される子どもの姿	教師の支援 <u>※人とのかかわりに関する支援</u>
<p>1 前時の学習を想起し, 本時のめあてを確かめる。</p> <p>めあて 自分の表現主題が表れるような画面構成を考え, イメージスケッチをかこう。</p>	<p>○ 図工ノートで自分の表現主題を確かめる。</p>
<p>2 自分の主題に合った画面構成を考えてかく。</p> <p>(1) 画面構成が異なる写真を見て, 印象がどのように違うか話し合い, 画面を構成する際に留意する観点を知る。</p> <p>(2) ラフスケッチをかく。</p> <p>(3) 描いたラフスケッチから2~3枚を選び, どれが最も自分の主題に合った画面構成かを友達と交流する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;"> <p> 私は, パン屋さんがお客さんのことを思ってパンを作っているところを表現したいんだけど, どちらの画面構成の方がいいと思う?</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p> この画面構成だと人の表情が見えていいね。でも, 顔が大きすぎるとお店の様子がわからないから, 少し人を小さくして, お店の様子がわかるようにしたらどうかな?</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p> それに, 人の向きを変えて少し斜めにすれば腰が曲がっている様子も表せて, 一生懸命な感じが伝わるんじゃないかな?</p> </div> <div style="width: 45%;"></div> </div>	<p>○ 画面構成の際に人の「大きさ」や「向き」, 「動き」, 「位置」, 「用紙の向き」等を工夫したらよいことをとらえるために, 写真を見る。</p> <p>○ 後で交流しやすいように, 前時に描いたラフスケッチに加え, 先ほどの観点を留意しながらラフスケッチを複数描けるように時間をとる。</p> <p>※ 交流しやすいように3人グループに机を配置する。</p> <p>※ 机に表現主題を書いた三角コーナーを立て, なぜその画面構成がいいのか, 表現主題を根拠に交流できるようにする。</p> <p>※ 交流が深まるように, これまでかいたラフスケッチの中から2~3枚を選ばせ, その中でどの画面構成がいいか, 先ほどの観点をもとに話し合えるようにする。</p>
<p>3 ラフスケッチに絵や言葉を加えてイメージスケッチをかく。</p>	<p>○ スムーズにイメージスケッチが描けるように, 資料で描き方を示す。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
<p>4 本時の振り返りをし, 次時の活動の見通しをもつ。</p> <div style="margin-top: 20px;"> <p> パン屋さんの大きさや向きを考えて, 表現主題に近付くような画面構成を考えることができたわ。次の時間に, 大きな画用紙に絵をかいていくのが楽しみだな。</p> </div>	<p>○ 友達とのかかわりの中で感じたことを図工ノートに振り返り, 次時に生かす。</p>